

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 長期2型糖尿病罹患が浸潤性膵管癌に与える影響とメカニズムの解明

研究の目的

浸潤性膵管癌 (Pancreatic ductal carcinoma; 以下、PDC) は著しく予後不良かつ、近年世界的に増加している疾患です。2型糖尿病 (Type 2 diabetes mellitus; 以下、T2D) はPDCの発症リスクであり、その長期罹患はPDCの予後不良因子です。我々は以前、T2D長期罹患患者はCDHIプロモーターのメチル化を亢進しPDCの予後を悪化させることを報告しました。今回、DNAメチル化を媒介するDNA methyltransferase (以下、DNMT) に着目し、T2D長期罹患とDNMT1発現の関連を調査いたします。

研究実施期 2022年12月23日 ~ 2025年3月31日

間： (倫理委員会承認日)

対象となる方： 2014年1月1日~2019年12月31日までの間、附属病院消化器外科で浸潤性膵管癌に対して手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、膵癌の悪性度、2型糖尿病罹患の有無や罹患期間等につき標記研究課題実施のために利用します。また、患者様からいただいた手術標本の一部を用いさせていただき、分子学的病理学的因子につき検索を行います。

具体的には、2型糖尿病の罹患期間と膵癌の生命予後との関係性について調査します。手術標本から抽出したDNAやRNAを調べDNMT1に関係している因子を調査します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学消化器外科・山崎慶介 0172-39-5079 (内線 4608)
-------	---------------------------------------